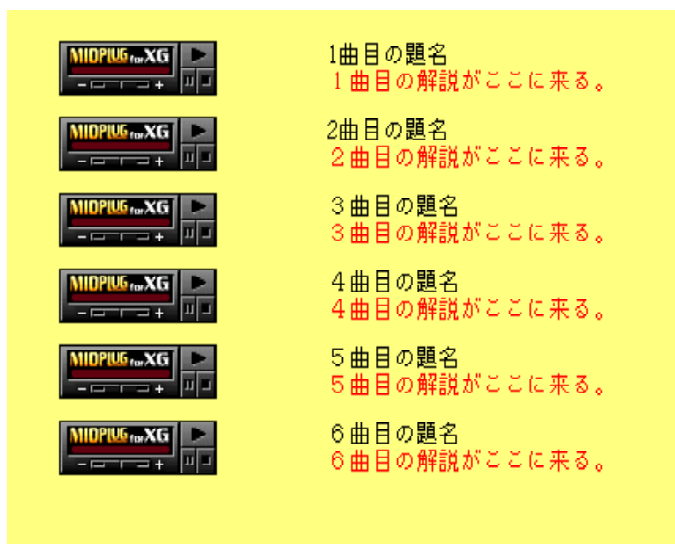


ブラウザーを活用しよう (6)

1 ページに数曲

先月号で紹介したのは、1 曲だけ貼り付いたページを作るやり方でしたが、今回は 1 頁に数曲リンクボタンを貼り付ける方法を紹介します。前回紹介した MIDI 演奏タグを 1 枚のページに複数個置くだけのことで、レイアウトとしては次のようになります。



それぞれの曲タイトルの左側にあるパネル (この場合はヤマハの XG) 中のボタンをクリックすれば任意の曲を演奏できるわけです。この 6 曲演奏の HTML の 1 曲分は次のようになっています。(IE 専用)

```
<p><embed SRC="ここに MIDI ファイル名"
TYPE="audio/midi"
PANEL="1"
AUTOSTART="FALSE"
REPEAT="FALSE"
SAVE="TRUE"
WIDTH="100" HEIGHT="30" align="left" hspace="70"
alt=" 1 曲目の題名 "
<font color="#FF0000"><font size=+1>1 曲目の題名</font></font><br>
<font color="#FF0000"><font size=+1>1 曲目の解説が
ここに来る。</font></font>
```

これを曲の数だけ繰り返して書けば良いのですが、実際に書いてみると曲の数が増えるほどこのページの立ち上がりは遅くなります。

そこで次のような方法を使うことをお勧めします。

1 曲ずつ独立したページを開く

前の方法は 1 曲ずつ「再生」「停止」などのコントロールパネルが付くという豪華なイメージが売りですが、このページが重くなりすぎるのと、楽譜などの情報が同時に表示出来ないと言う欠点があります。

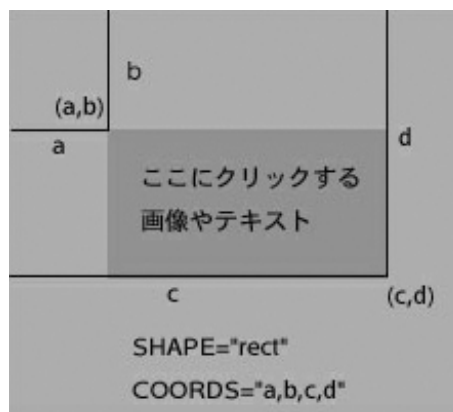
そこで、前号で作成した 1 頁に 1 曲と言う折角作ったデータを利用すると良いと思うのです。そのデータには楽譜や写真などのグラフィックも付いているわけですから大いに利用すべきです。左の画面をそのまま利用する場合は次のようにします。

左の画像イメージを J P G ファイルとして保存する。
(Adobe Photoshop 等で楽しい画像を作ればなお良い)。

イメージマップを作る

クライアントサイド・イメージマップとして設定された領域に 1 曲ずつのリンクをつける

このうち に関しては画面上の文字や表の一部、画像などの領域を座標で記述します。



ここでの a,b,c,d は画面左上からのピクセル数を言いますが、この HTML を WARD 等で作成するときはリンクの対象の範囲を指定するだけで自動的にこの a,b,c,d の値が設定されます。

HTML は次のようにします。

```
<base target="_blank"  新しいページとして開くため
<IMG SRC=" "  にイメージファイル名
USEMAP=" "  このページのマップ名
<AREA SHAPE="rect" COORDS="110,0,200,902"
HREF=" "  110,0,200,等数字が a,b,c に該当。 は MIDI
ファイルのある場所とその名前。
マップの数だけ上の行を繰り返す。 . . . . .
</MAP>
```

この HTML では画面上の指定された範囲内にある画像やテキストをクリックすれば新しいページとして 1 曲演奏のページが現れます。<base target="_blank"> を指定しないとマザーページに戻るのが面倒になります。